



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 AMGホールディングス株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 8891 URL <https://www.amg-hd.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 克彦
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)大脇 貴志 (TEL)052(212)5190
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,179	47.9	639	15.2	597	6.7	361	0.7
2023年3月期第2四半期	8,908	38.5	554	54.2	560	58.6	358	75.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 384百万円(5.4%) 2023年3月期第2四半期 364百万円(70.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	125	40	—	—
2023年3月期第2四半期	124	85	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 31,785	百万円 9,733	% 30.4
2023年3月期	28,927	9,478	32.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,664百万円 2023年3月期 9,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 45.00
2024年3月期	—	27.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	30,000	31.5	1,600	11.5	1,500	8.1	950	△67.8	330	34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	2,906,048株	2023年3月期	2,906,048株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	24,865株	2023年3月期	24,826株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	2,881,185株	2023年3月期2Q	2,873,699株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、景気は引き続き緩やかな回復基調が続いております。その一方で、世界的な資源や原材料価格の値上がりや、欧米各国の金融引き締め、円安等による景気後退に対する懸念が強まっており、景気動向は依然として不透明な状況が続いております。

不動産業界においては、コロナ禍以降も安定した住宅需要があり、不動産市場は堅調に推移しております。しかし、建築費の高騰や住宅ローン金利上昇の可能性が今後の住宅需要に対する懸念材料となっており、引き続き予断を許さない状況が続いております。

建設業界においては、戻りつつあるインバウンド需要や法人による店舗・商業施設等の設備投資需要は堅調に推移しておりますが、建設技術労働者不足による建設労務費の値上がりや建築資材価格の高止まりが依然として続いております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における当社の業績は、売上高13,179百万円（前年同期比47.9%増）、営業利益639百万円（前年同期比15.2%増）、経常利益597百万円（前年同期比6.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益361百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

② 事業の種類別セグメントの業績概要

(分譲マンション事業)

分譲マンション事業では、当第2四半期連結累計期間において、新たに3棟101戸の新築マンション（モアグレース西岐阜駅ザ・カーサ、モアグレース一宮新生、モアグレース新木曾川レジデンス）の分譲を開始し、前期から販売開始した物件及び中古物件1戸を併せ110戸（前期は42戸）を成約しております。また、引渡しにつきましては、新規完成物件2棟、完成在庫を併せ58戸（前期は62戸）を行っております。

以上の結果、売上高2,300百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益（営業利益）は、100百万円（前年同期比63.4%減）となりました。

(注文建築事業)

注文建築事業では、当第2四半期連結累計期間において、(株)アーキッシュギャラリーが受注した「長野日産自動車(株)本社・長野大橋店新築工事」や電気自動車「BYD」の販売店である「(仮称)BYD四日市店改修工事」の引渡しを行っております。

以上の結果、売上高4,767百万円（前年同期比36.2%増）、セグメント利益（営業利益）は178百万円（前年同期比29.1%増）となりました。

(戸建分譲事業)

戸建分譲事業では、(株)TAKI HOUSEの業績とともに、2022年10月に連結子会社となった(株)川崎ハウジングの業績が本事業に加わったことから、売上高及びセグメント利益（営業利益）は前年同期を大幅に上回ることであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において163戸の新規契約、161戸の引渡しを行い、売上高6,112百万円（前年同期比113.1%増）、セグメント利益（営業利益）は513百万円（前年同期比71.6%増）となりました。

(不動産管理事業)

不動産管理事業では、エムジー総合サービス㈱において、分譲マンション241棟6,331戸の管理、マンションの大規模修繕のコンサルタント26件等を手掛けております。また、2022年10月に連結子会社となった㈱ハウメンテの業績が本事業に加わったことから、売上高及びセグメント利益（営業利益）はともに前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、売上高364百万円（前年同期比32.4%増）、セグメント利益（営業利益）は74百万円（前年同期比56.0%増）となりました。

(賃貸事業)

賃貸事業では、第1四半期連結会計期間に㈱エムジーホームが取得したマンション用地での賃料収入が加わったことから、売上高及びセグメント利益（営業利益）はともに前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、売上高54百万円（前年同期比27.5%増）、セグメント利益（営業利益）は35百万円（前年同期比54.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は28,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,849百万円増加いたしました。これは主に物件の完成により販売用不動産が1,787百万円増加し、工事代の支払等により仕掛販売用不動産が2,056百万円増加したことによります。

固定資産は3,439百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主に長期性預金が61百万円増加したことによります。

以上の結果、総資産は31,785百万円となり前連結会計年度末に比べ2,857百万円増加いたしました。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は15,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ819百万円増加いたしました。これは主にプロジェクト資金の借入により短期借入金が1,673百万円が増加し、工事代等の支払により支払手形及び買掛金が731百万円減少したことによります。

固定負債は6,533百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,782百万円増加いたしました。これは主にプロジェクト資金の借入により、長期借入金が増加したことによります。

以上の結果、負債合計は22,051百万円となり前連結会計年度末に比べ2,602百万円増加いたしました。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は9,733百万円となり、前連結会計年度末に比べ254百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益361百万円の計上により増加し、配当金の支払により129百万円減少したものであります。

以上の結果、自己資本比率は30.4%（前連結会計年度末は32.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,865,403	2,398,745
受取手形、売掛金及び契約資産	1,005,240	1,581,988
販売用不動産	5,699,255	7,487,122
仕掛販売用不動産	14,192,000	16,248,884
前渡金	367,279	212,964
その他	367,210	416,409
流動資産合計	25,496,389	28,346,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,458,466	1,434,789
土地	1,685,850	1,648,850
その他	482,697	494,304
減価償却累計額	△1,136,634	△1,149,424
有形固定資産合計	2,490,380	2,428,520
無形固定資産		
のれん	246,585	236,228
その他	24,300	34,164
無形固定資産合計	270,886	270,393
投資その他の資産	670,105	740,192
固定資産合計	3,431,372	3,439,106
資産合計	28,927,762	31,785,221
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,797,248	2,065,396
短期借入金	7,928,145	9,601,325
未払法人税等	240,401	198,429
1年内返済予定の長期借入金	2,307,092	2,475,187
契約負債	548,004	425,531
賞与引当金	83,307	107,075
完成工事補償引当金	83,263	84,865
その他	710,907	560,330
流動負債合計	14,698,371	15,518,140
固定負債		
社債	470,800	361,600
長期借入金	3,921,945	5,794,807
退職給付に係る負債	97,019	103,577
役員退職慰労引当金	154,016	160,415
その他	106,923	113,267
固定負債合計	4,750,704	6,533,667
負債合計	19,449,075	22,051,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,168,021	1,168,021
資本剰余金	166,713	166,713
利益剰余金	8,078,442	8,312,921
自己株式	△23,263	△23,331
株主資本合計	9,389,914	9,624,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,664	39,895
その他の包括利益累計額合計	21,664	39,895
非支配株主持分	67,106	69,193
純資産合計	9,478,686	9,733,413
負債純資産合計	28,927,762	31,785,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,908,988	13,179,256
売上原価	7,374,927	11,096,984
売上総利益	1,534,060	2,082,272
販売費及び一般管理費		
役員報酬	72,160	80,685
給料及び手当	392,484	543,866
役員退職慰労引当金繰入額	8,101	7,611
その他の人件費	88,678	139,410
減価償却費	28,078	39,320
租税公課	38,225	127,319
広告宣伝費	79,006	151,989
賃借料	45,472	48,787
販売手数料	65,931	81,907
その他	161,039	221,907
販売費及び一般管理費合計	979,178	1,442,805
営業利益	554,881	639,467
営業外収益		
受取配当金	3,739	4,036
受取補償金	—	22,602
雑収入	32,394	14,110
その他	1,291	3,787
営業外収益合計	37,424	44,537
営業外費用		
支払利息	27,716	81,610
その他	4,303	4,733
営業外費用合計	32,019	86,344
経常利益	560,286	597,660
特別利益		
固定資産売却益	2,172	—
特別利益合計	2,172	—
特別損失		
固定資産除却損	—	6,640
投資有価証券評価損	—	4,236
特別損失合計	—	10,877
税金等調整前四半期純利益	562,459	586,782
法人税、住民税及び事業税	162,258	224,323
法人税等調整額	37,113	△4,063
法人税等合計	199,372	220,260
四半期純利益	363,086	366,522
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,281	5,194
親会社株主に帰属する四半期純利益	358,805	361,328

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	363,086	366,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,891	18,230
その他の包括利益合計	1,891	18,230
四半期包括利益	364,978	384,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,696	379,558
非支配株主に係る四半期包括利益	4,281	5,194

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	合計
	分譲マンション事業	注文建築事業	戸建分譲事業	不動産管理事業	賃貸事業	計		
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	2,388,510	148,759	2,846,906	274,601	—	5,658,777	—	5,658,777
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	3,211,363	—	—	—	3,211,363	—	3,211,363
顧客との契約から生じる収益	2,388,510	3,360,122	2,846,906	274,601	—	8,870,141	—	8,870,141
その他の収益 (注) 2	—	—	—	—	38,847	38,847	—	38,847
外部顧客への売上高	2,388,510	3,360,122	2,846,906	274,601	38,847	8,908,988	—	8,908,988
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	139,429	21,089	335	4,025	164,879	△164,879	—
計	2,388,510	3,499,552	2,867,995	274,936	42,872	9,073,867	△164,879	8,908,988
セグメント利益	274,892	138,576	298,991	48,029	23,031	783,521	△228,639	554,881

(注) 1. セグメント利益の調整額△228,639千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用216,684千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等が含まれております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	合計
	分譲マンション事業	注文建築事業	戸建分譲事業	不動産管理事業	賃貸事業	計		
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	2,300,257	330,630	6,079,672	321,003	—	9,031,564	—	9,031,564
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	4,099,076	—	—	—	4,099,076	—	4,099,076
顧客との契約から生じる収益	2,300,257	4,429,706	6,079,672	321,003	—	13,130,641	—	13,130,641
その他の収益 (注) 2	—	—	—	—	48,615	48,615	—	48,615
外部顧客への売上高	2,300,257	4,429,706	6,079,672	321,003	48,615	13,179,256	—	13,179,256
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	337,779	32,751	43,060	6,036	419,627	△419,627	—
計	2,300,257	4,767,486	6,112,424	364,064	54,652	13,598,884	△419,627	13,179,256
セグメント利益	100,708	178,887	513,095	74,904	35,645	903,241	△263,773	639,467

(注) 1. セグメント利益の調整額△263,773千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用270,109千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。